

新しい明日へ



玖珠町長
宿利 政和

あ

けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年1月の玖珠町長選挙におきまして多くの皆様の「信任をいただき、第8代玖珠町長に就任して早くも1年が過ぎました。「地域づくり、まちづくりは議論からスタートする」との信念のもと、多くの皆様と心が通じ合うよう「まごころ第一」を心掛け、駆け抜けた日々でした。

住民の皆さんとの声をまちづくりに活かしたいとの思いで、地域力くすデザイン会議において住民参加型ワークショップを開催し、様々な議論を積み重ねました。

今後も、老若男女それぞれの視点に立つた『住民協働のまちづくり』を進めてまいりたいと存じます。

さて、今春には玖珠工業団地で「新栄合板工業株式会社」が操業を始めます。雇用に加え、木材供給を含む山林所有者や流通関係者、町内商工業者など、地域への様々な経済波及効果が期待できます。

そして4月には子どもたちの新たな学び舎とし

て「くす星翔中学校」がいよいよ開校します。平成28年12月にスタートした「玖珠志学塾」も三年目を迎えることができ、映像を使った個別指導方式などは多くの玖珠美山高校生に浸透し、これから、目に見える成果が得られると思います。

今後も郡内唯一の高等学校である県立玖珠美山高等学校と協力し、地域づくり、まちづくりを始めた取り組みを行いたいと思います。

子育て環境の整備は、玖珠町の将来を担う子どもたちのためだけではなく、子どもを持つ保護者の方々、地域のためにも必要であり、更に充実でできるよう努力する所存です。

『新しい明日』へ向け、着実な一步を踏み出すため、現在、行財政改革プランの策定と、役場組織の改革を計画しております。現在の組織・機構を検証しながら、住民サービスの向上へ最大の効果を生み出したいと思っております。

とりわけ、毎年のように発生する大規模災害への対応や、保育と教育が連携し、子育てを包括的に支援できる将来を見据えた子育て支援体制の確立を目指しています。災害時には消防団や消防署、自衛隊などの連絡・協力体制を構築するとともに、職員総がかりで対応できる体制を構築したいと考えています。

人類が月に降り立つて50年、本年が玖珠町にとって大きな飛躍の年となり、「地域力日本一をめざす玖珠町」の小さな第一歩になるよう皆様方のご協力をいただきたいと願っております。結びに、本年が皆様にとって、笑顔あふれる1年となり、ご家族皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



新

年あけましておめでとうございます。町議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

希望に満ちた輝かしい平成31年の新春を皆様ご健勝にお迎えいただき、心からお慶び申し上げます。

また、議会活動に対しまして皆様の温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現在、国を取り巻く環境は景気回復が緩やかに続いていると言われておりますものの、まだ、地方におきましては厳しい社会経済状況であり、また、緊迫した国際情勢、地球温暖化による環境問題、更には、歯止めのかからない人口減少による少子・高齢化など多くの課題を抱えております。

このような中で、町議会としては町民の皆様の声を真摯に受け止め、引き続き安心して心豊かに暮らせる童話の里玖珠町の創生を目指してまいりたいと思っています。

そのために、今年4月に開校する新中学校くす星翔中学校や、長年待ち望んだ県営玖珠工業団地での新栄合板工業株式会社の操業開始などが成功することだが、まずは、重要ではないかと思ってまいります。

本年も議員一丸となつて玖珠町の発展に尽くしてまいりますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸、ご活躍をご祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



玖珠町議会議長
河野 博文

ます。

また、町行政の組織改編の円滑な移行、公共施設の管理計画、各中学校跡地の有効活用などの取り組みをはじめ多くの課題に対しまして、町民の皆様のニーズを見極めながら町執行部と議論を重ね、ともに創意工夫と英知を結集して課題解決に努力していくよう決意を新たにしております。

現在、町議会では、一昨年前に制定した「議会基本条例」を基底に、予算常任委員会の設置をはじめ、議会改革に取り組んでいます。

皆様の多様な意見を町政に適切に反映させる責務を担ううえで、議員一人ひとりが研鑽に努め、資質向上を図ることはもとより、町議会が皆様のより身近な存在でなければならないと思います。

このため、議会報告会の開催や各種団体との意見交換会などを開催しており、今後も、このような事業を積極的に進め、より開かれた議会を推進してまいりたいと思っています。

さて、昨年も全国各地で自然災害が発生しました。いつ、どこで発生してもおかしくないことを踏まえ、自然災害に備える必要性を強く感じています。自然災害への対応についても、引き続きまちづくりの重要施策として行うよう、求めてまいります。

希望に満ちた新年を迎え